

## 人の命を救う狂犬病の予防接種について

### 狂犬病の予防注射はなぜ必要か

狂犬病は世界の国々で今も発生しており、年間約5万人がこの病気で亡くなっています。昨年2006年、日本でもフィリピンで犬に咬まれた男性2人が帰国後に死亡して話題になりました。世界保健機関（WHO）の報告によれば、現在狂犬病の発生がない国は島国や半島の国などごく少数の国に限られています。日本は幸いにも1956年以降国内での犬による狂犬病は、発生しておりません。しかし、2006年には海外で犬に咬まれ本病を発症し2人が死亡しています。また、2013年隣国台湾において野生のイタチアナグマでの発生が確認されており、専門家はこの病気がいつ我が国に侵入してもおかしくないと考えています。

### 犬に予防接種は必要か

狂犬病はウイルスによって引き起こされます。このウイルスは人以外にも家畜や野生動物に感染して、発症するとほぼ100%死亡する恐ろしい病気です。ウイルスの感染は、ごくまれに空気でも起こり得りますが、一般的には咬み傷から、動物の唾液中にいるウイルスが体内に侵入して感染します。このウイルスはワクチンによって増殖を抑えることができ、ワクチン接種した動物は狂犬病ウイルスに感染してもほとんどの場合発症することがなく、発症しても軽い症状で済むため、人に感染する危険性がきわめて低くなります。



### 狂犬病のワクチン接種は犬だけでいいのか

狂犬病ウイルスは、家畜、ペット動物、野生動物など、多くのほ乳動物に感染します。しかし、常に人の身近にいて、狂犬病ウイルスに感染した時に人を咬む危険性が最も高いのは、ペットとして飼われている犬です。

### 人への狂犬病の感染はどのように防げばよいのか

ペットとして飼育している犬にワクチンを接種することにより、島に狂犬病が侵入するのを防ぐことができます。仮に、狂犬病が島に侵入しても飼育されている犬がワクチン接種を受けていれば動物間の感染を防ぐだけでなく、人への感染の危険性も低くなります。狂犬病予防注射は狂犬病からあなたの家族と地域の人々の命を守ることができる最も有効な方法です。

問い合わせ先

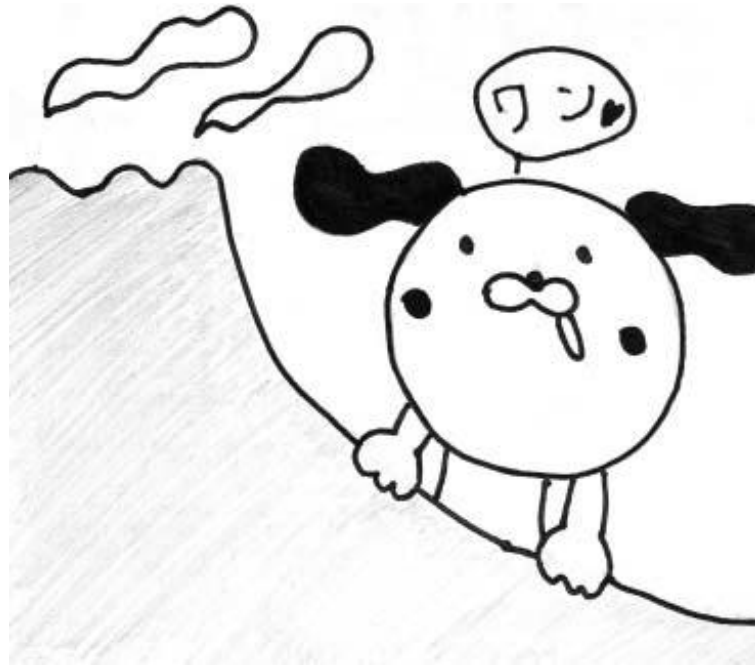
大島保健所

元町字馬の背275-4

TEL2-1436

平成 27 年 6 月改訂

# 狂犬病予防接種のはなし



2015年版